

令和5年度〔自己評価報告書〕

学校番号	学校名	校長名
26	川崎市立橋中学校	堀川芳夫

学校教育目標	今年度の重点目標
ひとりひとりの個性を伸ばし、知・徳・体・意の調和のとれた人間性豊かで、たくましい生徒を育成する	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆共に支えあえる学校(共生・協働)</li> <li>☆いじめ防止に向けての具体的な取り組み</li> <li>☆「わかる授業」は学習指導・生徒指導・支援教育の基本</li> <li>☆70周年記念式典に向けた取り組み</li> </ul>

評価項目	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎共に支えあえる学校(共生・協働)</li> <li>・いじめ防止に向けての具体的な取り組み</li> <li>・生徒の視点に立った生徒理解</li> <li>・日常的な教育相談の充実</li> <li>・不登校生徒への具体的な対応</li> <li>・多様性を認め、差別のない学校</li> <li>・道徳、人権尊重教育の推進「生きる」(命)</li> <li>◎SDGsと関連付けた教育課程の構築</li> <li>◎総合的な学習の時間の充実</li> <li>・3年間を見通した学習プログラムの構築</li> <li>◎特別活動の充実(自主・自立)</li> <li>・学級活動・生徒会活動・学校行事の充実</li> <li>生徒会スローガン「太陽～雲を切り開き、未来を照らせ～」</li> <li>◎キャリア在り方生き方教育の推進</li> <li>◎かわさき共生*共育プログラムの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共に支えあえる学校(共生・協働)の実現に向けて、いじめ防止に向けて次のような具体的な取り組みを行った。「川崎市立橋中学校いじめ防止マニュアル」「生徒指導上の心構え」を新たに作成した。更に「情報共有シート」も作成しチームで対応できるように取り組んでいる。しかし、どの学年においてもSNSでのトラブルなどが起きており、いじめ防止に向けては、今後も注意深く対応していく必要がある。</li> <li>・友人に対して思いやりをもっている94.4%(数値は学校評価・生徒)の生徒ができており、約5%の生徒は、できていないことは課題である。高津警察との連携でいのちの大切さを学ぶ教室の実施した。</li> <li>・相談できる先生 信頼できる先生過去最高値84.7% 昨年度比較+5% 教職員の努力の結果と捉える。しかし、約15%の生徒否定的であることも忘れず今後の更に改善していきたい。</li> <li>・70周年記念式典での生徒の自主的な発表は、参加していただいた地域の方々から大変好評で特別活動の充実の証となった。</li> <li>・市総体総合2位など運動部・文化部とも大会等での活躍が多くあった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ防止に向けての取り組みを今年度一歩進められた点に満足せず、「情報共有シート」の活用、チームでの対応を更に進めていきたい。</li> <li>・不登校生徒は、今年度も多く不登校傾向の生徒を含め1月時点で40名弱いる。次年度に向けては、学習室の在り方をもう一歩進めていきたい。学習室で見据えつつ学びを進められる環境作りを心掛けた。教員側の配慮等の課題を考慮しながら進めていきたい。</li> <li>・年度末に高津警察と連携しいのちの大切さを学ぶ教室を実施した。次年度も続けていきたい。</li> <li>・SDGsと関連付けた教育課程の構築 新年度修学旅行は、広島・京都方面である。修学旅行を見据えたい平和学習の構築を柱にSDGsと関連した学習実施し、次の学年に繋いでいきたい。</li> <li>・キャリア在り方生き方教育の推進、かわさき共生*共育プログラムの着実な実施に努める。</li> <li>・ひとりひとりの生徒を大切にしたい教育を実践して行くためには、教職員の心のゆとりが必要である。働き方改革にも引き続き取り組みより良い教育実践に結び付けていきたい。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎基礎的・基本的な学力を身につける指導の実践</li> <li>・わかる授業の推進</li> <li>・GIGAスクール構想の推進</li> <li>◎お互いの学び合いを大切にしたい学習の展開</li> <li>・双方向の学びで他者と「つながる」</li> <li>◎支援教育の充実</li> <li>・学習面で特別な配慮を要する生徒への支援の充実</li> <li>・学習室の運営</li> <li>・外部機関との連携</li> <li>◎授業力の向上</li> <li>・授業公開、研修を通して授業力の向上に取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすいいい授業わかる授業88.2%の生徒は肯定的に捉えているが、約12%の生徒は否定的である。わかる授業の推進のためには、教員の授業力の向上が欠かせない。GIGA端末の活用も日常的に行われているが、更なる改善が必要である。</li> <li>・話し合い活動に積極的に参加68%昨年度より5%であった。教科だけではなく学級会での話し合いも含め改善していきたいところである。</li> <li>・Coを中心に大変熱心に学習室の運営に務めた。しかし、大規模校で教室に入れない生徒も多く十分に手厚い指導ができなかった。支援教育の必要性は十分認識しているが人的課題もありその対応は課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味やわかる授業80.5%昨年度比較+7.3% 授業に楽しく参加できていない生徒が約20%いる。この現状を教員全員が真摯に捉えたい。授業公開することで気づかなかった点も指摘できるので次年度校内での授業研究を計画的に実施していきたい。</li> <li>・今年度授業力の向上に向けては、校内授業研究会と拡大要請訪問を実施した。より良い評価・評定の在り方や教育相談についてご指導をいただいた。生徒に寄り添い個別に合った指導や授業力の向上、信頼される評価・評定などに常に研修に努め向上させていきたい。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎心と体の健康増進(保健室との連携)</li> <li>・保健室、支援教育コーディネーターやスクールカウンセラーとの連携</li> <li>・新型コロナウイルス感染症予防</li> <li>◎学習環境の整備(事務室との連携)</li> <li>・全ての生徒にとって学習しやすい落ち着いた教室環境</li> <li>・防災教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナが5類になり対応が大きく変化する中、一定数感染症(コロナ・インフルエンザ)にかかる生徒はいる。現状でも常に感染拡大の危険性は大きいと考え保健室、事務室との連携を密にとり消毒用品の調達等感染予防に務めた。</li> <li>・快適な学校施設90.1% 多くの生徒が学校の施設状況に満足している。ゆとりある個別支援の教室と学習室の整備が課題である。次年度は重たい使用の生徒の入学も予定している。バリアフリー化も課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務職員の主任会への参加2年目。教員とは違う視点での意見は、学校運営上大いに参考になった。</li> <li>・感染症予防に引き続き取り組み大きな閉鎖には至らなかった。</li> <li>・喫緊に迫る地震などの自然災害に向け防災訓練今年も実施したが、次年度は更にその備えを充実していきたい。意識面での啓発も授業を通しておこなってきたい。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎学校・保護者・地域との連携</li> <li>・保護者・地域と連携した70周年記念式典に向けた取り組み</li> <li>◎保護者・地域と連携した教育の実践</li> <li>◎小・中連携教育の推進</li> <li>・小学校と連携した支援教育の充実</li> <li>◎生徒、保護者から信頼される教育の推進</li> <li>・学校公開と保護者・地域に向けての情報発信</li> <li>・学校評価の活用</li> <li>・学校ホームページの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTAバザーをコロナ禍以前の形式に近づけ実施することができた。多くの保護者との連携が橋中学校的活性化に繋がった。地域の方々との連携は、次年度も少し広げていきたい。</li> <li>・70周年記念式典は、地域の代表の方を実行委員長として連携する中で実施することができた。多くの方々から素晴らしい式典だったや生徒の発表が良かったとのお褒めの言葉をいただいた。</li> <li>・橋中学校区の6年生対象、中学校体験入学を2日に分けて実施した。</li> <li>・今年度も学校HPの充実にも務めた。生徒の日々の活動に留まらず、教職員の研修会を紹介するなど保護者・地域の方々に広くアピールした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTAバザーは、今年度保護者・地域を巻き込んで実施できたので今年の経験を活かしてより充実した一日なるよう連携しながら計画していきたい。</li> <li>・PTAの在り方は、今後検討の余地がある。今の時代に即したPTA活動としていきたい。また、地域との連携においても改革の余地はあると考える。</li> <li>・周年行事の記録をきちんと残し次に繋げていきたい。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>働き方改革の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に前期は、部活動との関係(最終下校時刻18時)もあり、約半数の教職員が80時間超えになる月もあった。後期は、例えば1月は15名と数はぐっと減ってはいる。今年度、最終下校時刻を一部短縮するなどに取り組んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動ガイドラインの徹底を図る。</li> <li>・働き方改革への意識の向上に努める。</li> </ul>

学校関係者の評価	学校運営のまとめ
<p>今年度の学校教育推進会議は、2月14日に実施された。学校関係者からの本校の教育実践に対する評価は、ご理解をいただき概ね好意的であったが次のようなご意見・感想をいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度避難所運営会議で中学生を交えて会議、訓練等を行いたい。</li> <li>・生徒会スローガンに迫る具体的な行動例が示せるというのではないか。</li> <li>・学校評価の結果から今の中学生は、話し合い活動をどのようにとらえているか。</li> <li>・不登校生徒への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価アンケート(生徒)において各項目とも90%前後の肯定的な回答を得ている。多くの生徒が本校での生活に満足している。しかし、10～15%程度の生徒は、何らかの不満や不安を抱いている。学校に来れない生徒や教室に入れない生徒がいるこの実態の改善は次年度の大きな課題である。ひとりひとりの生徒を大切にしたい教育の実践が橋中学校的教育の根幹と捉え、学習室の在り方等目に見える形でその改革をすすめていきたい。一方、部活動での目覚ましい活躍は、共に橋中学校で過ごす教職員にとっても大きな励みになっている。生徒たちの頑張る姿や成長した姿を目にするには何よりエネルギー源である。地域・家庭と連携していく中でより良い橋中学校を構築していきたい。</li> </ul>